

昭和61年度 博士課程単位修得論文・修士論文一覧

〔論文題目, 提出者, (指導教官)〕

博士課程単位修得論文

商学研究科

- | | | |
|--|-------|---------|
| メレロヴィッツ原価理論の研究
—— シュマーレンバッハ原価理論との比較・検討 —— | 尾畑 裕 | (岡本 清) |
| 都市交通政策序説 | 竹内 健蔵 | (杉山 武彦) |

経済学研究科

- | | | |
|--|-------|---------|
| 価値実体論及び価値形態論
貨幣本質解明の二つのアプローチ
—— マルクスとジンメル —— | 小島 彰 | (松石 勝彦) |
| 資金市場と景気循環
バートンおよびカードウの機械論とマルクスの相対的過剰人口論 | 坂口 明義 | (高須賀義博) |
| 戦後日本国家独占資本主義と国債発行
—— 1965年不況期の重化学工業資本分析を中心に —— | 相模 裕一 | (藤野正三郎) |
| 企業金融と資本市場
金利と通貨量の因果関係の比較分析 | 中山 孝男 | (関 恒義) |
| | 御園 謙吉 | (中村 政則) |
| | 三井 清 | (藤野正三郎) |
| | 湯浅 由一 | (寺西 重郎) |

法学研究科

- | | | |
|--|-------|---------|
| 独占禁止法における市場権力の規制
「公共的差止訴訟」の手續構造・序説
取得時効と登記 | 平川 幸彦 | (久保 欣哉) |
| | 川嶋 四郎 | (竹下 守夫) |
| | 良永 和隆 | (川井 健) |

単一国家主義に基づく地方自治の研究	大津 浩	(杉原 泰雄)
「行為支配論」の構造と展開	橋本 正博	(福田 平)

社会学研究科

チチェーリン国家論の形成と構造	杉浦 秀一	(中村 喜和)
George. H. Mead 社会理論の展開 —— パースペクティブと状況の理論に向けて ——	安川 一	(佐藤 毅)
ドイツ社会政策思想と家内労働問題	一條 和生	(菅 順一)
日本の経営の国際化の一視点 —— 日立製作所における体験から ——	アリセ・陽子・奥	(津田 真激)
1910・20年代における大日本武徳会 民主党の結成 —— 民主化期における保守政党の再編成 ——	坂上 康博 伊藤 悟	(川口 智久) (田崎 宣義)
ドイツ後期中世におけるラントフリーデ 周作人における人道主義とその崩壊	土浪 博 宮島 敦子	(阿部 謹也) (木山 英雄)
12世紀のクリュニー修道制 —— その衰退要因を探る ——	滝沢香代子	(土肥 恒之)

修士論文

商学研究科

組織変化と組織文化	網倉 久永	(宮川 公男)
キャピタル・ゲイン課説論	須田 邦裕	(安藤 英義)
資本予算の研究	中村 博之	(岡本 清)
組織におけるイノベーションの実行に関する研究	野田 稔	(野中郁次郎)
法人税の日韓比較	宋 東 錫	(中村 忠)
金融構造と企業財務	三隅 隆司	(花輪 俊哉)
創造的マーケティングの可能性	山下 裕子	(田内 幸一)
金融自由化の進展と信用秩序維持	金 錫 源	(花輪 俊哉)
日米経済摩擦に学ぶ国際マーケティング戦略	陳 光 宏	(田内 幸一)

債券先物市場に関する一考察 睦 錫 均 (花輪 俊哉)
テレビとニューメディアについての考察

ペルトル・マリー・パスカル (田内 幸一)

経済学研究科

初期ビザンツ社会における「貧困」の問題 大月 康弘 (渡辺 金一)
—— E. パトラジアンの問題提起とその射程をめぐって——

都市アメニティーの経済分析 加藤 尚文 (野口悠紀雄)
A Study of Dynamic Incidence of Capital Income Tax

金子 能宏 (石 弘光)

国際貿易の双対性分析 久保田 肇 (池間 誠)

Jカーブ効果の産業組織論的研究 中北 徹 (山沢 逸平)
—— 1985年9月以後の円高期に於いて日本の経常収支黒字が
拡大したのは何故か——

税制と設備投資 西山 利昭 (野口悠紀雄)

多数決投票ゲームにおけるコアの存在条件 広川みどり (鈴木興太郎)

通貨代替に関する一考察 藤原 裕之 (荒 憲治郎)

国家独占資本主義下の技術導入政策と高度成長 三浦 弘次 (松石 勝彦)
—— 戦後日本の「外為法」「外資法」の運用をめぐって——

財政赤字の経済的効果 山重 慎二 (石 弘光)

経済政策の国際的連関 山中 尚 (荒 憲治郎)
—— 政策協調の理論について——

政策決定過程の政治経済学的分析 和田淳一郎 (石 弘光)

日本のアパレル産業における産業調整と技術革新

アニー・ガラント (外池 正治)

オーストラリアの金融制度における規制の緩和と金融革新

スティーブン・J・グッド (池間 誠)

戦後日本の特別償却制度と設備投資 崔 仁 燮 (野口悠紀雄)

日本石炭産業の発展と鉄道との関係に関する一考察

—— 明治期筑豊地方を中心に——

鄭 秀 溶 (南 亮進)

韓国の貯蓄関数に関する一つの考察

尹 磯 燮 (寺西 重郎)

日本資本主義の戦後再編と「朝鮮戦争」 李世勳 (西和田 豊)
 — 特需を中心として —

法学研究科

双務契約の清算と物の果実および収益の帰属 花本 広志 (好美 清光)
 被疑少年の取調べとデュー・プロセス 葛野 尋之 (福田 雅章)
 — アメリカにおける権利放棄ルールの展開を中心に —

ノモンハン事件とソ連極東政策 (1937~39年) 駒村 哲 (有賀 貞)
 ヒュームにおける法と道徳の理論 桜井 徹 (上原 行雄)
 パワーとユートピア 柴田 純志 (山本 満)
 — 国際関係における力と小国の夢 —

社会変動下の大衆暴動 高柳 彰夫 (山本 満)
 — インドネシア「1月15日事件」の背景と意味 —

石橋堪山の対中国態度 袁 克 勤 (有賀 貞)
 米, 日, 中における刑務作業の比較検討 王 雲 海 (福田 雅章)
 — あるべき刑務作業を求めて —

受刑者の苦情不服救済制度 李 茂 生 (福田 雅章)
 — アメリカの制度を素材に —

証券取引法における投資者の保護 マーカス・フェイジオ (堀口 亘)
 — 日本の証券規制と運用実態 —

日本における訴訟外の紛争解決制度と仲裁
 ステファン・ヘルツベルク (久保 欣哉)

日本法における国際的訴訟競合の取扱い
 アントニー・フーラハン (火場 準一)

社会学研究科

習志野市・住民参加制度の社会地理学的考察 上田 元 (竹内 啓一)
 SEKI HAJIME AND CITY PROBLEMS (His time)

メルグブ・アブダラ (竹内 啓一)

清末市場の一研究 小瀬 一 (三谷 孝)
 — 開港場間流通の構造と展開 —

- | | | |
|---|-----------|---------|
| 北京政局における諸問題 | 鄭 健 宰 | (三谷 孝) |
| 日本帝国主義下における朝鮮農民運動に関する一研究
——宮三面土地回収運動を中心に—— | 李 圭 洙 | (三谷 孝) |
| 明治前期における立憲思想と知識人 | パリニ・ジュセピナ | (安丸 良夫) |
| 自由主義とナショナリズム
——ストルーヴェの自由思想をめぐって—— | 根村 亮 | (中村 喜和) |
| 初期トカチーフの研究
——1862～66における思想形成の過程—— | 下里 俊行 | (中村 喜和) |
| 史料としてのアイスランド・サガ | 阪西 紀子 | (阿部 謹也) |
| 移民の二言語使用に関する予備的考察
——在日朝鮮人の事例を中心に—— | 李 守 | (田中 克彦) |
| 言語構造と起源 | 鶴田 傑 | (田中 克彦) |
| 学校知識と競争 | 長谷川 裕 | (関 啓子) |
| チャーティズムとアイルランド | 小関 隆 | (都築 忠七) |
| ホップスにおける「宗教」と「政治」
——宗教からの政治の解放—— | 許 泰 瑜 | (田中 浩) |
| 1960年代農政の展開と自由党の地盤形成 | 盧 吉 鎬 | (田中 浩) |